

令和7年度 事業報告及びその附属明細書

概 要

当シルバー人材センターでは、近年の少子高齢化の進行により、労働力人口が減少するなか、健康で働く意欲のある高齢者が、長年培ってきた知識・経験や技術を生かし、年齢に関わりなく活躍し続けることにより「生涯現役社会」を実現することがますます重要と認識し、事業の推進に取り組んでまいりました。

高齢者が働くことは、高齢者自身が支えられる側から支える側に回り、健康や生きがいにもつながるものと考えられるため、当シルバー人材センターでは組織の機能強化を図り、積極的な事業の展開に努めました。

会員には安全かつ適正な就業の機会を提供するとともに、より長く働きたい、働いてほしいという会員や事業所のニーズに対応するため、職員が一丸となって推進し、公共・民間企業・個人家庭を対象にした就業機会の拡大及び会員の獲得に取り組み、新たに派遣、請負や内職の契約を締結することができました。

また、市をはじめ関係機関との連携を強化し各種イベントにも参加し、ボランティア活動などを通じて地域社会に貢献しようと、会員や役職員の努力はもとより、関係行政機関の指導・支援を受け事業推進に取り組んだことにより、地域社会の活性化に寄与し、高齢者の生きがいの場を提供するという基本方針に対する、一定の成果を得ることができました。

事業結果

【年度状況】

	項 目	6年度	7年度	増減
①	会員数	310名	288名	△22
②	請負就業の延べ人員	17,857人日	16,920人日	△937
③	配分金契約金額	70,247千円	69,874千円	△373
④	事務費金額	7,338千円	7,512千円	174
⑤	派遣就業延べ人員	12,117人日	11,554人日	△563
⑥	派遣賃金	51,481千円	52,485千円	1,004
⑦	派遣手数料	12,513千円	13,175千円	662
⑧	就業率	76%	71.2%	△4.8

※全シ協への実績報告より

1 受託事業

地域の家庭、企業、公共団体などに対して、機会あるごとに就業機会の開拓を積極的に行い、「草刈り作業」「庭木の剪定作業」「公園などの清掃作業」「施設の清掃作業」などを発注者から請負契約により仕事を受託し、危険な就業を除き、これを就業希望の会員に提供しました。（年度状況の②、③参照）

2 自主事業

自由な時間に入退室が可能な作業場「ワークステーション」を活用できる内職の職種を増やし、より多くの会員に提供できるように努めました。

- ・内職内容：タオルたたみ、ミシン縫製、組花など花関係、食品箱詰、シール貼り、組み立て家具（部品の小袋詰め、同部品セット詰め、同すき間隠し袋詰、同カタログ色見本帳の作成など）

3 職業紹介事業

公益社団法人岐阜県シルバー人材センター連合会山県市事務所として、慢性的な人手不足により、直接雇用を希望する企業へ積極的に会員を紹介しました

が、契約には結びつきませんでした。

令和5年度	紹介事業所 3件	紹介会員 4名	紹介手数料 150,381円
令和6年度	紹介事業所 2件	紹介会員 2名	紹介手数料 52,771円
令和7年度	紹介事業所 0件	紹介会員 0名	紹介手数料 0円

4 労働者派遣事業

公益社団法人岐阜県シルバー人材センター連合会山縣市事務所として、臨時的かつ短期的な就業及び人手不足分野での就業時間の要件緩和を活用して、一人でも多くの就業希望会員に就業機会の提供ができるように努めましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で企業の業績回復が遅れており派遣就業人員の減が発生しましたが、最低賃金の改定などにより派遣賃金・手数料は微増となりました。
(年度状況の⑤、⑥、⑦参照)

5 各種講習会の実施

岐阜県シルバー人材センター連合会主催の研修及び講習を積極的に受講していただきました。

派遣会員には、全シ協のテキストを使用し、自宅学習による教育訓練（義務講習）を実施しました。

受講者数：令和5年度 27名、令和6年度 36名、令和7年度 41名

当シルバー人材センターでは、シニア世代が関心を持つ高齢者健康教室（食中毒予防セミナー）を開催し入会につなげるとともに、令和5年10月より実施されたインボイス制度及びフリーランス法の理解を深めるため、12月に会員を対象に研修を実施しました。

6 普及啓発

シルバー事業を広く宣伝することにより、就業などを通じて社会参加を希望する高齢者に対して、センターへの入会を促進する一方、地域社会の信頼と理解を得るために社会福祉協議会、商工会、民生委員・児童委員など公的機関・団体に適時情報を提供しました。

〈社会参加活動〉

山口市ふるさと栗まつりに参加し、シルバー事業の PR 活動を行いました。

〈年間を通した普及啓発活動の実施〉

- ・ 山口市広報紙に会員募集、仕事の紹介などの広告を隔月で掲載しました。
- ・ ホームページや SNS を活用した PR 活動を行いました。

7 安全・適正就業の推進

事故ゼロを目標として、事務局による安全パトロールの回数を増やすなどして安全対策の推進を強化してまいりましたが、6 件の事故が発生しました。

入院 0 名、通院 6 名（転倒など 2 件、蜂さされ 2 件、切り傷など 1 件、骨折 1 件延べ通院日数 31 日）

- ・ 草払い機安全衛生講習を県シ連主催で 10 月 21・22 日の 2 日間、事務所付近の空き地で行いました。
- ・ 熱中症対策として、長時間屋外での請負作業に従事する会員に空調服を貸与しました。（3 着追加購入「延 98 着」・80 名貸与）

8 調査研究

「山口市元気生活応援事業」で特に軽易なものは「ワンコインサービス」として市役所福祉課と事業の積極的な運用を行いました。

ワンコインサービス事業は、

令和 05 年度 335 件

令和 06 年度 187 件

令和 07 年度 274 件

訪問型サービス A 事業では、山口市北部地域包括支援センター、南部地域包括支援センターと連携し利用者サービスを行い、利用者の状況や困りごとなどを市に報告しました。

令和 05 年度 3 名（北部 1 名・南部 2 名）

令和 06 年度 3 名（北部 1 名・南部 2 名）

令和 07 年度 4 名（北部 1 名・南部 3 名）

9 就業分野の開拓・拡大

地域の家庭・企業・公共団体などに対して、機会あるごとに就業機会の開拓を積極的に行い、発注者から請負契約、派遣契約問わず危険な就業を除き仕事を受託し、未就業会員を優先し、特定の会員に就業機会が偏らないように配慮し、就業希望の会員に提供できるように努めました。

10 相談、情報提供

入会を希望する高齢者や定年後を心配する一般市民を対象に、毎日随時シルバー人材センター施設内で、入会相談会を実施しました。

企業などからの募集案内をホームページ、掲示板、SNSなどで随時会員にお知らせしました。

11 社会参加活動の推進

ボランティア活動に積極的な会員への社会参加活動の機会の提供は、世の中の情勢を考慮し控えさせていただきました。

令和7年度 事業報告への追加事項

12 公益目的事業の実施状況

当シルバー人材センターは、高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき県知事の指定を受け設立され、営利ではなく公益目的により運営されており、高齢者の「臨時的・短期的または軽易な就業」による生きがいくりと地域社会への貢献を目的としています。

当シルバー人材センターは、地域における深刻な労働力不足に対応するため、平成31年度に県下でいち早く人手不足分野での就業時間の要件緩和の指定を受け、これにより、従来の「臨時的かつ短期的な就業（週20時間程度）」の枠組みを超え、特定業種の特定職種分野において週40時間までの就業が可能となり、会員の多様な働き方の実現と地域経済への貢献を両立させ、令和7年度事業報告のとおり各事業を実施しました。

具体的な取組み内容としては、高年齢者等の雇用の安定等に関する法律に規定されている事業（①高年齢退職者のための就業機会の提供、②臨時的かつ短期的な雇用による就業又はその他の軽易な業務に係る就業の職業紹介・厚生労働大臣に届け出での、有料の職業紹介事業③就業に必要な知識・技能の付与を目的とした講習、④高年齢者のための一般労働者派遣事業）を実施しました。

なお、管理費は、公益目的事業に直接結びつかないものであり、管理費の削減について検討し、実施いたします。

現在は会員の高齢化や労働力不足に対応するため、就業機会のデジタル化(Web受注・マッチング) や一般労働者派遣事業の拡充に注力していきます。

1 3 運営体制の充実を図るための取組み（自律的ガバナンスに関する取組み）

当シルバー人材センターにおいては、令和7年度の定時総会において役員改選を行い、外部理事を3名、外部監事を1名選任しております。

なお、岐阜県シルバー連合会の指導の下で役職員を対象としたハラスメント研修などを行うとともに、PDCA 管理により業務の継続的な改善に努めました。

事業報告の附属明細書

令和7年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書に記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、これを作成しない。